

2014年7月31日

東日本初！高齢者等の見守りに関する個別協定を締結

～千葉県とセブン-イレブン・ジャパン～

「ちば SSK プロジェクト」等に関する協定を締結

セブン-イレブンがひとり暮らし高齢者の見守り活動等を実施

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長 最高執行責任者〈COO〉井阪 隆一）は、2014年7月31日（木）、千葉県（森田 健作知事）と地域社会における安全・安心の取り組みの一環として、高齢者見守り活動「ちば SSK プロジェクト」等に関する協定を締結いたします。

本取り組みは、高齢化社会の進行や単身世帯の増加、ならびに小売店舗をはじめとする様々な地域拠点の減少といった社会環境の変化が進む中、千葉県とセブン-イレブンが連携・協力して、高齢者の見守りや高齢者雇用の促進等、地域の高齢者支援活動を推進していくものです。

セブン-イレブン・ジャパンは、今後も地域社会との連携や、お食事お届けサービス「セブンミール」を中心としたお届けサービス等の拡充により、お客様にとってより「近くて便利」なお店を目指してまいります。

記

1. 協定の名称 『「ちば SSK プロジェクト」等に関する協定』

2. 協定締結日 2014年7月31日（木）

3. 協定の趣旨

お買い物にお困りの高齢者等へのお届けサービスにおいて、ひとり暮らし高齢者の異変を察知した時に、市町村と連携して対応する活動を実施するとともに、認知症サポーターの養成、高齢者雇用の推進等について千葉県とセブン-イレブンが積極的に協力し、ひとり暮らしの高齢者等が安心して暮らせる街作りを目指します。

4. それぞれの役割

■千葉県の役割

- ・ 千葉県内の市町村および関係機関に対して、本協定の趣旨の周知を図るとともに市町村における取り組みが円滑に行われるよう、助言等必要な支援を行う。

■セブン-イレブンの役割

- ・ お届けサービスを通じて、高齢者を中心としたお買い物にお困りの方に買い物支援を行う。
- ・ 千葉県と連携し、高齢者雇用に努める。
- ・ 認知症高齢者やそのご家族が安心して暮らせる地域社会を目指し、認知症サポーターの養成に取り組む。
- ・ 本取り組みを通じて高齢者の地域活動支援に取り組む 等

以上

ご参考①

『ちば SSK プロジェクト』等に関する協定書

千葉県（以下「甲」という。）と株式会社セブン-イレブン・ジャパン（以下「乙」という。）は、「ちば SSK プロジェクト」（高齢者孤立防止活動）、高年齢者雇用及び認知症サポーターについて、次のとおり協定を締結する。

（趣旨）

第1条 この協定は、乙が日常業務として行う買い物弱者である高齢者の支援を通じ、ひとり暮らし高齢者の異変を察知した時に、市町村に通報する活動を実施するとともに、認知症サポーターの養成、併せて高年齢者の雇用を推進すること（以下「乙におけるSSK活動等」という。）について、甲及び乙が積極的に協力して取り組み、ひとり暮らし高齢者等が、地域で安心して生活ができるようにすることを目的とする。

（甲の役割）

第2条 甲は、県内の市町村及び関係機関に対して、この協定の趣旨の周知を図るとともに、市町村における取組が円滑に行われるよう、助言等必要な支援を行うものとする。

（乙の役割）

第3条 乙は、加盟店及び従業員等に対してこの協定の趣旨の周知を図るとともに、乙におけるSSK活動等が円滑に行われるよう次の各号に取組むものとする。

- （1）乙は、お届けサービスを通じて、買い物弱者である高齢者の買い物支援に取り組むものとする。
- （2）乙は、高年齢者雇用に努めるものとする。
- （3）乙は、認知症高齢者やその家族が安心して暮らせる地域社会を目指し、認知症サポーター養成に取り組むものとする。
- （4）乙は、本事業を通じて高齢者の地域活動支援に取り組むものとする。
- （5）その他、乙は、甲の高齢者施策にできる範囲で協力するものとする。

（個人情報の保護）

第4条 甲及び乙は、乙におけるSSK活動等を通じて知り得た情報を第三者に漏らし、又は目的以外に利用してはならない。この協定の有効期間終了後も同様とする。

（費用の負担）

第5条 乙におけるSSK活動等に要する費用は乙の負担とする。

(相互連携)

第6条 甲及び乙は、この協定に定める事項の円滑な推進を図るため、情報交換を行う等、相互の連携の強化に努めるものとする。

(協議)

第7条 社会情勢の変化等によってこの協定に不備が生じたとき、又はこの協定に定めない事項について定める必要が生じたときは、甲及び乙で協議するものとする。

(有効期間)

第8条 この協定の有効期間は、協定締結の日から平成27年3月31日までとする。
ただし、有効期間満了の日の1ヶ月前までに、乙から年間計画書が再提出されたときは、当該有効期間満了の日から起算して1年間延長するものとし、以後もまた同様とする。

この協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲及び乙が記名の上、各自その1通を保有するものとする。

平成26年7月31日

甲 千葉県千葉市中央区市場町1番1号
千葉県
千葉県知事

森 田 健 作

乙 東京都千代田区二番町8番地8
株式会社セブン-イレブン・ジャパン
代表取締役社長 COO

井 阪 隆 一

ご参考②

■『ちばSSKプロジェクト』とは

千葉県は、全国2番目の増加率で急速に高齢化が進むと予想されています。一人暮らしの高齢者や高齢のご夫婦だけの世帯、認知症高齢者の方が孤立することなく、必要な支援を受けながら安心して暮らせるよう、地域において声かけや見守りなどの支え合い活動を実践することが重要です。

そこで、県では、県民一人ひとりが具体的な行動を起こすきっかけづくりとなるよう、「ちばSSKプロジェクト」として、県民フォーラムやDVD制作、街頭PRなどの啓発事業を平成23年度より実施しています。

※「SSK」は、「しない」のS、「させない」のS、「孤立化！」のKと、それぞれアルファベットの頭文字を取って記号化したものです。

■『高齢者等の見守りに関する協定』（個別協定）締結状況

【千葉県内】

- ・ 鴨川市、館山市、南房総市、鋸南町（高齢者見守りネットワーク：2014年6月26日締結）
- ・ 大網白里市、九十九里町（高齢者見守りネットワーク：2014年7月28日締結）
- ・ 千葉県（「ちばSSKプロジェクト」等に関する協定：2014年7月31日締結）

※7自治体（1県4市2町）で締結済

【全国】

- ・ 北九州市（いのちをつなぐネットワーク：2013年6月参加）
- ・ 福岡県（見守りネットふくおか：2013年11月締結）

※上記（千葉県）を含む9自治体（2県5市2町）で締結済
（2014年7月31日現在）

■セブン-イレブン店舗数

【千葉県内】908店舗

【全国】16,664店舗（2014年6月末現在）

以上